

スマートループアイ画像活用

パイオニア(株)は市販カーナビ向け情報ネットワークシステム「スマートループ」のサービスとして、カメラ画像をドライバー間で共有するサービス「スマートループアイ」を提供している。このサービスを使って災害時の車移動者は安全かつ適切に避難を行うことが可能となる。

背景

国内において大規模な災害が後を絶たないなか、パイオニア(株)では特定非営利活動法人ITS Japanが災害時の情報活用のあり方について企画する「災害時／平常時ハイブリッド情報システム委員会」に参画。東日本大震災で甚大な災害が起きた際や、ゲリラ豪雨などの局所災害には、国をあげて大きな危機感を抱いている。そこで、情報システムに関わる企業が協議会を結成し、それぞれが持つ技術、システムなどを災害対策の一環として提供することになった。

概要

災害時／平常時ハイブリッド情報システム委員会に参画する企業が集まって、「移動者向け災害情報協議会」を結成。同協議会は国土交通省「平成26年度G空間社会実証プロジェクト事業」に選定された。2014年度中には、移動者向け災害情報提供システムの検討・構築・実証実験の実施、利用ログ活用手法の検討、次年度以降の普及継続に向けた計画の策定を行う。

■協議会メンバー

みずほ情報総研(株)、静岡県、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター、本田技研工業(株)、富士通(株)、(株)ウェザーニューズ、アジア航測(株)、パイオニア(株)



出典：国土交通省のHP
<http://www.mlit.go.jp/common/001042977.pdf>

アピールポイント

- パイオニア(株)が提供するスマートループアイサービスからの画像情報や、協議会メンバーが提供する情報を活用することにより、災害発生時、カーナビ・スマートフォン画面等で、車の現在地や移動先の市町村が発令している情報(避難勧告や避難指示の情報・河川の水位情報・ハザードマップ)や、民間・ユーザーが提供する情報(ユーザー投稿情報・災害時の航空情報・カーナビ撮影画面)を受け取ることができる。
- こうした情報により、移動者は安全かつ適切に避難を行うことが可能となる。2014年度事業では、システム構築及び実証実験を行う。



パイオニア株式会社 カーエレクトロニクス事業統括部 テレマティクス事業部
 情報サービスプラットフォームセンター PF企画部 <http://pioneer.jp/>
 〒212-0031 川崎市幸区新小倉1-1 Tel.044-580-3065 / Fax.044-580-4059